

おおむた 市議会だより

第210号

令和元年度
9月議会

令和元年(2019年)11月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※過去5年間分

右のQRコードで
スマートフォン・
タブレットでも
見れます



スポーツ 2019 市民の祭典 なわとび競争
(令和元年 10月13日、14日)

【主な記事】

- 令和元年度議会報告会を開催しました／ぎかいの話題(2・3ページ)
- 大牟田から全国、そして世界へ／おおむた自慢(12ページ)

ぎかいの話題

令和元年度 議会報告会を行いました

第9回目となる議会報告会は、末表のとおり9会場で開催し、255名の市民の皆様に参加していただきました。

開催までにご尽力いただいた地域役員、関係者の皆様に感謝申し上げます。

報告会の概要

報告会の前段に、昨年度、会場で出された意見・要望のうち、行政から回答を受けた内容について説明しました。

第1部では、本市の大きな財源を伴う事業であり、当局の説明会でも様々な意見が寄

せられていた「大牟田市庁舎の整備」について取り上げ、2月に示された当局案の概要や、その後の定例会での議論、採決、委員会での検討等の経過についてご報告しました。

第2部では、平成30年度の議会活動として「小中学校の特別教室へのエアコン設置」と「防犯灯・街路灯の設置費補助」について説明しました。

その後、参加いただいた皆様方から、庁舎整備の財源や文化財である本館の取り扱い等の庁舎の問題や地域の課題等、多岐にわたるご意見を寄

せていただきました。

現在、大牟田市議会の広聴部会が中心になり、寄せられたご意見の集約・分類作業を進めております。

とりまとめた意見等は次回の市議会だよりに掲載し、お知らせする予定です。

また、9月の定例会や決算特別委員会では、寄せられたご意見を生かして、各議員が発言を行いました。

今後も定例会や委員会をはじめ、あらゆる機会を通して市政に反映させて参ります。

令和元年度 参加人数

8月	会 場	合計
1日	手鎌地区公民館	40
2日	吉野地区公民館	39
5日	大 正 小 学 校	28
7日	労働福祉会館	17
19日	勝立地区公民館	18
20日	駛馬地区公民館	23
21日	三池地区公民館	36
23日	三川地区公民館	24
24日	総合福祉センター	30
合 計		255

※報道関係者を除く

参加者のアンケート集計結果（抜粋）

回答者数 230人

〔 〕は昨年の議会報告会での回答割合（昨年の回答者数221名）

○年代 20代以下 0.9%〔0.4%〕 30代 1.3%〔2.7%〕
40代 3.0%〔5.0%〕 50代 12.6%〔13.6%〕
60代 27.0%〔29.4%〕 70代～ 54.8%〔48.9%〕 無回答 0.4%〔0.0%〕

○開催日時について

参加しやすかった 86.5%〔79.2%〕
参加しにくかった 2.6%〔5.9%〕 無回答 10.9%〔14.9%〕

○内容について

満足 15.7%〔17.2%〕 やや満足 36.5%〔38.0%〕
どちらでもない 22.6%〔24.9%〕
やや不満 8.7%〔6.3%〕 不満 2.6%〔0.5%〕 無回答 13.9%〔13.1%〕

○議会に関心が

もてた 42.7%〔41.2%〕 少しもてた 31.7%〔36.6%〕
どちらでもない 9.1%〔10.4%〕 もてなかった 2.2%〔1.8%〕
無回答 14.3%〔10.0%〕

議員のよこ顔(その2)

前号から4回にわたって全議員を紹介しています。



塩塚 敏郎
議 員

①61歳 ②恵比須町 ③音楽・将棋
④「今日の後に今日はなし」 ⑤祭り好きで人情味があるところが好きです。おいしいお好み焼き屋さんが多いですね。 ⑥人の話はよく聞くが、少しだけ頑固です。でも、やさしいです。



島野 知洋
議 員

①52歳 ②唐船 ③スポーツ、温泉めぐり ④「伏すこと久しきは飛ぶこと必ず高し」人生には逆境はつきもの、その時期をいかに過ごすのが大切なのでしょう。 ⑤有明海の初島越しの夕日が、多良岳に沈む。この甘木山から見る景色が喜欢です。 ⑥長所は謙虚かつポジティブ、短所はケセラセラなところだ。

議会報告会の様子



8月2日【吉野地区公民館】



8月20日【駿馬地区公民館】



8月21日【三池地区公民館】

特別委員会等のメンバー構成

～委員会は前号から2回にわたって紹介しています～



議会運営委員会

【委員長】森竜子
【副委員長】平嶋慶二
【委員】島野知洋、城後徳太郎、
平山伸二、山田修司、平山光子

議会運営に関する事項の協議・決定を行います。



まちづくり・活性化特別委員会

【委員長】徳永春男
【副委員長】中原誠悟
【委員】江上しほり、森竜子、
塩塚敏郎、三宅智加子、平嶋慶二、
古庄和秀、北岡あや

総合計画に関する事項の協議を行います。



広報広聴委員会

【委員長】三宅智加子
【副委員長】島野知洋、城後徳太郎
【委員】森竜子、森遵、山口雅夫、
山田修司、平山光子、松尾哲也、
森田義孝、崎山恵子

議会の広報及び広聴の推進等の協議及び調整を行います。



城後徳太郎
議員

①38歳 ②通町 ③映画、音楽、古い車やバイク、景色を見ること、ゴルフ
④「焦らない、でも、諦めない」「諦めない、一度諦めると習慣になる」 ⑤義理人情に厚い人が多く、気候が穏やかで自然災害が少ないところ ⑥物事に対して慎重な面があり、それが長所でもあり短所でもある。



中原 誠悟
議員

①44歳 ②汐屋町 ③野球、アウトドア ④「初志貫徹」 ⑤三池港、三池山 ⑥困っている人達から頼まれた事を実行するところが長所だと思われるが、後先構わず行動してしまうところが短所だと思われる。これが私の長所でもあり、短所だと思います。



徳永 春男
議員

①63歳 ②倉永 ③農作業・石造アーチ橋探訪 ④別にこれと言ったものはないが、強いて言えば「継続は力なり」 ⑤海・山・川・平野があり、自然が豊富で、里山に暮らすことができること ⑥長所短所は恥ずかしくて言えないが、常に劣等感があるので、恥をかかない程度に人並みに頑張ること。短所は怠け者の資質があること。



平嶋 慶二
議員

①64歳 ②歴木 ③天気図づくりと一眼レフカメラ ④汝その道を行け、しかして、あとは人の語るにまかせよ。捨てる神あれば、拾う神あり。⑤山上町から見た工場の夜景と市街の夜景 ⑥気長とちょっと短気

ぎかいの話題

本会議運営のあらまし

30年度決算を認定

9月議会

令和元年度9月議会は、9月2日に招集され、9月26日までの25日間の会期で運営しました。

9月議会で審議した議案等は、30年度の各会計決算7件、予算議案4件、条例議案案18件及び報告5件、意見書案など発議等9件の計43件でした。

本会議では、市庁舎の整備、市保健所の設置主体の変更などの諸課題に11人の議員が登場し、市長をはじめ当局に質問しました。

また、30年度各会計決算議案は、決算特別委員会に付託し審査を行いました。

本会議最終日までに、意見書案の発議3件を除いた議案、発議、決議をそれぞれ可決、認定して本会議を閉会しました。

決算特別委員会

決算認定の内容

議員全員で構成する決算特別委員会（平山伸二委員長、島野知洋副委員長）を設置し、30年度の各会計決算関係議案7件について、9月17日から20日までの4日間にわたり、慎重に審査しました。

審査の結果、消防・救急業務、教員の業務量、地域企業支援に関することなど、幅広い視点から議論が交わされ、56項目の意見・要望を盛り込んだ委員長報告書をまとめ、本会議最終日に全ての決算関係議案を認定しました。

議会日誌（7月～9月）

【7月】

2日 市民教育厚生委員会
5日 広報広聴委員会広聴部会
10日 総務委員会
12日 広報広聴委員会広聴部会
16日 広報広聴委員会広報部会
22日 総務委員会、広報広聴委員会広聴部会
25日 都市環境経済委員会
29日 広報広聴委員会広聴部会
31日 総務委員会

【8月】

2日 各派代表者会、議会運営委員会
21日 各派代表者会
26日 各派代表者会、議会運営委員会
28日 全員協議会
29日 総務委員会、市民教育厚生委員会
まちづくり・活性化特別委員会
30日 都市環境経済委員会

【9月】

2日 各派代表者会、議会運営委員会、第3回定例会本会議〔開会〕、広報広聴委員会広報部会
6日 第3回定例会本会議〔質疑質問〕
9日 第3回定例会本会議〔質疑質問〕
10日 第3回定例会本会議〔質疑質問〕、議会運営委員会、請願等調整委員会
11日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
13日 各派代表者会、議会運営委員会、第3回定例会本会議〔決算議案を除く議案等採決〕、決算特別委員会、広報広聴委員会広報部会
17日 決算特別委員会
18日 決算特別委員会
19日 決算特別委員会
20日 決算特別委員会、起草委員会
24日 起草委員会
25日 起草委員会
26日 起草委員会、議会運営委員会、第3回定例会本会議〔決算議案採決、閉会〕、まちづくり・活性化特別委員会



委員会メモ



庁舎整備に関する 確認事項への回答

【総務委員会】

7月31日の委員会で、7月22日に総務委員会より当局に提出した「庁舎整備についての調査研究事項等に関する申し入れへの確認事項等について」に対する回答を受けました。

これを受け、企業局庁舎を活用しつつ、笹林公園に庁舎を建て替えるケース等について質疑が交わされました。

ジョージア柔道連盟の 事前キャンプ誘致へ前進

【市民教育厚生委員会】

8月29日の委員会で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿に係る覚書を福岡県、大牟田市、ジョージアオリンピック委員会の3者で締結したと報告を受けました。

今後はホストタウンとして、実行委員会を設立し、事前キャンプ及び交流事業の実施について協議される予定です。

三池港賑わい創出のための 懇談会の目的

【都市環境経済委員会】

8月30日の委員会で、三池港賑わい創出のための懇談会の目的について、四山地区の緑地を中心とした施設に関して、三池港のポテンシャルを生かしつつ、賑わいを創出する施設として機能を整理し、ハード・ソフト両面でのビジョンを策定するためとの説明を受けました。

これを受け、四山地区緑地の活用方法、維持管理等について質疑が交わされました。

総合計画の委員間討議

【まちづくり・活性化特別委員会】

8月29日及び9月26日の委員会で、まちづくり総合プラン等に対する委員間討議を行いました。

今後、次期総合計画への要望を行うために、これまでの総括をすることを確認し、また作業部会を設置して協議することにしました。

議案等の審議結果

議 案 等 名		議 員 名	自民・未来クラブ										公明党議員団					社民・国民民主・護憲クラブ					無所属				賛 成 数	審 議 結 果
			江上しほり	徳永春男	桑原誠	境公司 (議長)	島野知洋	城後徳太郎	中原誠悟	光田茂	森遵	森竜子	山口雅夫	三宅智加子	大野哲也	塩塚敏郎	平山伸二	山田修司	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝	北岡あや	崎山恵子	山田貴正		
発議第8号	核兵器禁止条約への参加を求める意見書案	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
発議第9号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書案	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
発議第10号	保育の質を確保させるため公定価格の抜本的な改善を求める意見書案	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
発議第11号	水産業の体質強化を求める意見書案	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	18	多数可決	
議案第19号	平成30年度大牟田市一般会計決算の認定について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第20号	平成30年度大牟田市国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第21号	平成30年度大牟田市介護保険特別会計決算の認定について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第22号	平成30年度大牟田市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第26号	令和元年度大牟田市一般会計補正予算	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第30号	大牟田市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第33号	地方公務員法の一部改正による会計年度任用職員制度の導入等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第34号	大牟田市会計年度任用短時間勤務職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の制定について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第35号	大牟田市単純な労務に従事する会計年度任用短時間勤務職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の制定について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第36号	大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について（住民基本台帳法等関係）	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第37号	大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について（廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係）	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第39号	大牟田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第42号	保健所の設置主体の変更に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第44号	大牟田市危険物の規制等に関する手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第46号	大牟田市企業職員のうち会計年度任用短時間勤務職員の報酬、費用弁償及び期末手当の種類及び基準に関する条例の制定について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で認定、可決

議案第 23 号	平成30年度大牟田市病院事業債管理特別会計決算の認定について
議案第 24 号	平成30年度大牟田市水道事業会計決算の認定について
議案第 25 号	平成30年度大牟田市公共下水道事業会計決算の認定について
議案第 27 号	令和元年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算
議案第 28 号	令和元年度大牟田市介護保険特別会計補正予算
議案第 29 号	令和元年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算
議案第 31 号	大牟田市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 32 号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律による地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第 38 号	大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について（建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係）
議案第 40 号	大牟田市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 41 号	大牟田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 43 号	大牟田市保健センター設置条例の制定について
議案第 45 号	大牟田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 47 号	大牟田市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
発議第 12 号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書案
発議第 13 号	教職員定数改善と教育予算の拡充を求める意見書案
発議第 14 号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書案
発議第 15 号	太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書案
決議第 1 号	天皇陛下御即位に当たっての賀詞決議案

インフォメーション

■次の定例会は12月です

詳細については、議会事務局（41-2800）までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。インターネットでも、生中継、過去の録画（過去5年間分）を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで12月上旬から閲覧できる会議録をご覧ください。ホームページでも12月上旬から閲覧・検索できます。



動画視聴

“学び直しの場” 夜間中学の設置検討を



公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

教育行政

問 大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画案の中学校再編案は。

答 中学校再

編における白光・歴木・橘中学校については、現在の学校位置とする現計画を見直し案とした3校同時再編による急激な変化を緩和するため、時期は分散化する。

再発言 小中学校再編は、未来ある子どもたちの将来に向けた教育環境の姿を描きながら、丁寧に進めてもらいたい。



問 本市における夜間中学の設置について聞きたい。

答 本市では、様々な事情により義務教育を修了できなかった方や中学校で学び直す希望者がおられると推測する。外国人労働者の受け入れ拡大が進めば、外国にルーツを持つ子どもやその家族の就学の機会を確保する意味からも、夜間中学の設置が望まれる。

再発言 夜間中学は、中学校を卒業していない場合に入学できたが、文部科学省の方針転換により、不登校や病氣、

虐待などで学校に通えないまま、形式的に卒業した人も入学できるようになった。

E S Dのまちおおむた、誰一人取り残さないまちを目指すためにも、夜間中学の設置を要望する。

保健所の設置主体の変更による市民への影響と課題

問 保健所の設置主体の変更による市民への影響と課題は。

答 本市が県の広域ネットワークに組み込まれ、市民の健康危機管理体制が強化される。

課題としては、手続窓口が県の保健所に変わるため市民に影響が出る。

再発言 市民サービスが低下しないよう、また指定難病・特定疾患の医療助成の申請手続やバザー出店許可証・施設の許可証は、本市での窓口業務ができるよう要望する。

中高年のひきこもり対策

問 中高年のひきこもり対策について聞きたい。

答 社会福祉協議会内の生活支援相談室や市の福祉総合相談窓口などで対応している。

再発言 中高年のひきこもりは、社会とのつながりが薄く、家族だけで問題を抱え込みがち。本人も家族も、誰もが何とかしなくてはと思う難しい課題。家族だけでは、限界がある。

これら相談室の周知徹底と支援体制の強化を要望する。

市長の政治姿勢

問 次期第6次総合計画の4年間で本市が目指す都市像と基本目標について聞きたい。

答 人が育ち、人でにぎわい、人を大切にするほっとシティおおむたに向けた都市像を掲げる。実現に向けた基本目標は、はぐくみ、にぎわい、やさしさ、くらし、あんしん。これに、計画の実現に向けて、を加えて編を構成し進めたい。

再発言 本市は、E S Dを先進的・積極的に進めてきたまち。次期総合計画には、誰一人取り残さない大牟田として、S D G sの理念や要素を取り入れてもらいたい。

問 新庁舎を建設する方針は現在でも変わりはないのか。

答 新庁舎への建て替えが、将来の市民負担、市民サービスの向上につながると考える。

再発言 庁舎問題は、28年4月の熊本地震をきっかけに取り組み、3年以上経過したが、安全性の確保や市民サービスの観点からも、早急に議論や今後重要な判断材料となる市民アンケートを進めるべき。



動画視聴

誰ひとり取り残されないまちづくりを



社民・国民民主・護憲クラブ

古庄 和秀 議員

市庁舎整備

問 2月の定例会からの経過を踏まえ、様々なことを考えられたと思う。改めて中尾市長の市庁舎整備についての考えを聞きたい。

答 3月に議会から指摘を受け、各種団体との意見交換会や市民への説明会等を行った。

市庁舎の整備は、庁舎の安全性の確保や市民サービスの向上といった観点から早急に進めていくべき案件と考えている。

問 今任期中に方向性を決定したいとのことだが。

答 市民アンケート調査の結果を踏まえ、基本方針の検討を行い、方向性を決定し、その後に基本構想策定、予算案、附属機関の設置条例の改正案などを議会に提案したい。

再発言 新しい市長が就任してから、これまでの経過を踏まえ、方向性を示されるよう、強く要望する。

誰一人取り残されないまちづくり

問 8月に、二人の知人が孤

独死された。本市は高齢化率が高いため、孤独死が起きないように対応が必要。

誰一人取り残されないまちづくりを進めていく必要

性と、その実現に向けた関係部局との連携の必要性についての考えを聞きたい。

答 誰もが住みなれた地域で安心して住み続けることができるよう、地域共生社会の実現に取り組んでいる。これは、「誰一人取り残されないまちづくり」と同様の考えに基づくものとする。

市民の生活課題は多様化・複雑化が一層進み、一つの部局では対応が困難な事例も多くあるため、今後より一層関係部局と連携を強め進めたい。

問 本市では市立小・中・特別支援学校の全校でユネスコスクールに加盟し、SDGsを進められています。この目標は、誰一人取り残されないことを目指し、17の目標で構成されている。SDGsの観点から教育環境の整備について教育長の考えを聞きたい。

答 文部科学省のESD推進の手引の中で、教育が全てのSDGsの基礎であり、全てのSDGsが教育に期待をしている、特にESDは持続可能な社会の担い手づくりを通じて、SDGsの17全ての目標達成に貢献すると述べてあ

る。今後も誰一人として取り残されないまちを目指して、ESDを推進していきたい。

問 葛飾区自治町会が作成された「地域防災マニュアル」などの取り組みを参考に、誰一人取り残されない防災・減災を進める必要があると思うが、考えを聞きたい。

答 このマニュアルは、地震発生後の個人の行動や地域での活動、河川氾濫時の避難情報の伝達や平常時の備えなどについて、大きな文字で写真やイラストを使ってわかりやすく表現されている。本市でも、地域防災力の向上が、災害に強いまちづくりの実現のためには最も重要と考える。



葛飾区自治町会地域防災マニュアル

保健所のこれからのあり方

問 福岡県へ移管されるまでの予定と課題を聞きたい。

答 来年4月1日に福岡県に移管する。課題は①市民生活への影響緩和、②市民等への周知徹底、③県への円滑な事務引き継ぎの3点。①は、指定難病医療費助成や食品営業許可等の申請手続きが集中する時期に出張窓口を開設してもらえよう、要望している。

市民サービスに混乱や支障を来すことがないように、移管の円滑な実施に努める。



動画視聴

保健所の主体変更後には一定の利便性の確保を



自民・衆議クラブ
島野 知洋 議員

中尾市政4年間の市政運営の総括と残された課題

問 市長就任以来、取り組んできた市政運営の総括と残された課題について聞きたい。

答 市政のかじ取り役として、まちづくりの推進と市民福祉の向上に全力で取り組んできました。また、喫緊の課題である人口減少に歯どめをかけるべく、福祉・教育・雇用の3本の柱を中心に様々な取り組みを進めてきた。

しかしながら、人口減少の抑制は、まだ緒についたばかり。庁舎問題や体育館の建て替え、新栄町駅前地区市街地再開発事業などの課題についても、今後のまちづくりの観点から、しっかりと取り組んでいく必要がある。

大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画（案）

問 中学校再編には、現計画に既存の近隣校活用案を併記する二つの中学校配置案が示された。そこで今回、現計画の学校位置を橘中学校にするに当たっての課題は、解消を図ることができるのか聞きたい。

答 学校施設を最大限に有効活用できるよう、施設配置を工夫・改善した整備を検討した。また、3校同時の再編に伴う急激な変化を

緩和するため、再編時期の分散化を図り、環境を整えながら段階を踏んで進めていく。

保健所設置主体の変更

問 本市保健所としての業務は、令和2年4月から福岡県に引き継がれることになった。手続の窓口が県に移ることで不便になることが考えられるが、指定難病の申請手続について、県との協議の状況を聞きたい。

答 令和2年度については、本市がこの受付を行う方向で協議中。令和3年度以降は、交付申請が集中する時期に臨時出張窓口を開設してもらうなど、利便性を一定確保できるように要望している。

問 食品衛生関連業務についての申請は、柳川市にある南筑後保健福祉環境事務所に移るようだが、その申請者の負担軽減についても検討すべきと思うが、見解は。

答 飲食店等の食品営業許可に関する利便性の確保に向けて、許可の更新時期に合わせて大牟田市内に臨時窓口の設置を要望している。

本市における空家等対策の推進

問 本市では、平成28年度に空き地及び空家等対策計画を策定し、施策に取り組んでいるが、現在、その対策計画の改定作業が進められている。

今回の改定のポイントについて聞きたい。

答 改定の基礎資料とするため、職員による空き家の実態調査を実施した。本市の空き家の現状は、増加傾向にあると捉えている。

改定のポイントは、これまでの適正管理と利活用の促進に加え、羽山台校区で取り組まれている空き家対策活動などから、空き家発生抑制策の重要性を再認識できたことから、予防の視点での取り組みの充実が重要。

さらに、空き家等問題は、防災・衛生・景観など多岐に及ぶことから、市民協働部や保健福祉部など多部署との横断的連携の強化や、地域や関係団体との連携体制の充実にも取り組んでいく必要がある。

再発言 本市の空き家対策は、多部署が一丸となって、連携して取り組むよう要望する。



空き家の活用

一般質問

関係機関と協議したい。

学校での心肺蘇生教育の普及促進

問 児童生徒・教職員の心肺蘇生とAED教育は、安全な学校環境に必要と考えるが、現状を聞きたい。

答 AEDは全ての小・中・特別支援学校に設置しており、教育委員会では危機管理の面からも、児童生徒の発達段階に応じた心肺蘇生教育などの学習の充実と教職員にも研修会の充実を図りたいと考える。

合は療育機関を紹介している。

再発言 支援の充実、幼児ことばの教室の設置を要望する。

本館解体の市庁舎整備（案）に様々な識者からも意見

問 近代化遺産の広報戦略と矛盾するとの意見がある。

文化財としての価値を論議しない進め方が問われているのではないかと。

答 必要な機能や将来負担等を考え、総合的に判断した。

再発言 今後のまちづくりを見据えて進めていかれたい。

さ、市の財政負担増等がある。

預かり時間延長は、重要な取り組みであると認識していることから、全市一斉実施が難しい場合は、実施可能な施設・内容で、モデル的に実施することも選択肢の一つとして検討を進めていきたい。

再発言 子育て期に不安を抱える保護者は多い。子育て支援としてだけでなく、働き手の確保という面でも重要な取り組みであるとする。できるだけ早く利用時間の延長を実施されるよう要望する。



新たなごみ処理施設整備

問 新たなごみ処理施設の建設に向けては、今後も大牟田・荒尾清掃施設組合の枠組みで取り組んでいくのか。

答 今後も大牟田市と荒尾市の両市がさらなる連携を図り、一致協力し広域的な燃えるごみの処理に取り組んでいきたいと考えている。

令和2年4月以降の動物愛護の取り組み

問 飼い主不在の犬猫の愛護活動者への支援は今後どのように考えているのか。

答 保健所の設置主体変更で、収容した犬猫の返還や譲渡は県が取り組むが、殺処分ゼロの取り組みが継承されるよう



3歳児健診の視力検査は重要 幼児ことばの教室も開設を

問 3歳児健診の視力検査はどのように行われているか。

答 まず自宅で検査し、結果を健診時に持参してもらう。

問 厚労省は、「目の機能は6歳までに完成し、3歳児健診で異常が見逃され治療が遅れると視力が十分回復しない。」と、検査の重要性の周知を求めている。本市の対応は。

答 3歳児歯科健診の保健指導の中で行っているが、さらなる周知を図っていきたい。

問 幼児期の発音や聞こえなど、言葉に心配がある場合の相談や支援の仕組みは。

答 「ことばとこころの相談」を実施し、関係各課で連携を図りながら支援し、必要な場



学校再編

問 適正規模・適正配置という観点だけでなく、まちづくりの観点を踏まえた学校再編について、考えを聞きたい。

答 まちづくりの観点を含め、地域説明会等でいただいた意見等を参考とした上で、行政として総合的に判断していきたいと考えている。

学童保育所・クラブの充実

問 利用時間の延長について検討状況は。

また、実施に向けた課題は。

答 アンケート等で一定の利用意向が確認されている。

課題としては、支援員への影響や新たな人員確保の難し

一般質問



動画視聴

自民・未来クラブ
桑原 誠 議員

人口展望

問 内閣府の地方人口ビジョン策定の手引きをもとにした将来人口展望の実現性は。

答 本市では、社会動態の均

衡や合計特殊出生率を人口置換水準である2.07に改善することを前提に、2060年の将来展望人口を7万5,320人としている。

この4年間では、人口動態において幾つかは改善傾向が見られ、今回行った推計では、若年層の数で、その後の将来の人口全体に与える影響が大きいこと、また、若年層そのものの数をふやさないと自然動態の改善へと結びつかないことが明らかになった。

次期総合計画においても、

第5次総合計画に引き続き人口減少対策を喫緊の課題と捉えて重点的に取り組んでいきたい。

財政

問 今後の財政の見通しについて聞きたい。

答 財政構造強化指針で示した収支試算においても、何も今後対策を講じない場合に財政調整基金がなくなることとも考えられるので、様々な取り組みを、今後進めていきたい。



動画視聴

自民・未来クラブ
森 電子 議員

開発行為における公園等の設置基準の緩和を

問 本市における公園数と住民一人当たりの面積、維持管理費について聞きたい。

答 公園は243カ所あり、一

人当たりの面積は10.8平方メートル。維持管理費は約1億6,000万円となっている。

問 公園は健康や防災の観点からも重要であるが、一方で老朽化や除草作業などの維持管理費も大きな負担。開発行為における公園等の設置基準緩和を検討すべきと思うが。

答 メリットとして、維持管理費の抑制や公園用地が宅地として分譲され、固定資産税がふえることなど考えられる。

公園配置状況や地域の特性も踏まえ検討していきたい。

まちづくりの観点も踏まえ松原へ小中一貫校の実現を

問 松原中学校は小中学校が隣接しており、併設型を導入するには好条件。都市基盤も整い、近くに帝京大学等もあり学園都市ゾーンとしてイメージアップにもなる。小中一貫校を設置すべきと考えるが。

答 学校再編における第2期実施計画に向けては、まちづくりの観点や説明会などで出た意見・要望を参考とし、行政として総合的に判断したい。



動画視聴

無所属
北岡 あや 議員

市の保健所でなくなっても福祉サービスの維持を

問 指定難病・原爆被害者・小児慢性特定疾病等の医療費助成の手続については、対象者が病気であり、高齢者も多

いことから、県への保健所移管の影響は著しい。市民のためには、県から委託を受けて、市が業務を継続すべきでは。

答 協議中だが、来年度1年間に限り本市が引き続き行う。それ以降は、県が業務を行う。

再発言 県の出張所や出向も含め、サービスの低下とならぬよう協議・対策を求める。

保育の質確保のためにも支援員の処遇改善は待ったなし

問 学童保育所へ入所を希望しても入れない原因課題は。

答 市内の待機児童は35名だが、一番の課題は支援員の確保。労働環境や処遇改善にも課題がある。国などの状況を見ながら、改善を検討したい。

再発言 低学年の利用は増加傾向にあり、潜在的な待機児も多い。この待機児の解消、障がいのある子どもの入所の保障とともに、保育の質確保のための支援員確保が必要。それには支援員の処遇改善が必要。市の姿勢の問題も大きい。今後、指定管理のあり方や内容を見直されたい。

一般質問



市庁舎本館の保存、解体の是非を含めた方針

問 保存と解体の意見は双方変わらないため、改めて市民にアンケート調査を行い、本館の保存・解体の是非を問う

のも一つの方法だが見解は。

答 総務委員会から市民アンケート調査の実施の是非を含めた今後の方針を提示されていないことから、議会への予算等の提案も行えていない。しかし、庁舎の安全性等の問題からも早急に進めるべき案件と認識しており、市長の任期中に庁舎整備の方向性を決定できるよう協議を進めたい。

問 本館の保存は容認できないほか、笹林公園移転建て替え案も課題は多く、本当に費用が抑えられ、機能性が向上

するかわからない案で意志決定してはならないと考えるが。

答 本館や代替公園の方向性の決定や、それによるメリット・デメリットを含め、現在、議論されている総務委員会より意見があるものとする。

再発言 三重県伊賀市は旧庁舎の取り扱いを決める前に新庁舎の整備を行ったことで、現在も市民を分断する議論が行われている。本市も事態が長期化しないためにも、本館の取り扱いに関しては早期の方針決定を望む。



観光振興

問 観光基本計画の見直しが行われているが、観光に対する考え方や計画の変更点は。

答 策定以降17年が経過して

いる。観光を取り巻く状況の変化と新たな課題に対応するため、計画を見直す予定。また、関係団体と連携し、観光振興に取り組み、交流人口の増加や消費拡大につなげたい。

問 観光の目玉となっている大牟田市動物園の持つ役割と今後の園内整備予定は。

答 先進的な動物福祉の取り組みや子どもたちの教育、シティセールスにおいても重要な役割を持つ地域資源。今後、絵本ギャラリーを整備し、休憩室や授乳室等を整備予定。

シティプロモーション

問 市が運営しているSNSの有効活用はできているか。

答 現在、運用のあり方の見直しを行っているが、今後は、各SNSの特性を生かし、市政情報や本市の魅力を積極的に広くPRしていきたい。

問 マスメディアへのアプローチなど行っているのか。

答 福岡都市圏のテレビ局とやりとりを行っており、地道にアプローチを継続したい。

行政視察受入（7月～9月）

月	日	都道府県	団体名	視察項目
7	2	兵庫県	南あわじ市	議会改革の取り組み まちづくり・活性化特別委員会
	3	埼玉県	鴻巣市	高齢者等の円滑な居住確保促進事業
	8	香川県	丸亀市	街なかの賑わい創出・創業支援
	9	沖縄県	浦添市	大牟田市ESDコンソーシアム
	23	鹿児島県	志布志市	港湾における後背地との連携
	25	群馬県	館林市	地域交流拠点施設併設の市営住宅
8	31	沖縄県	沖縄市	高齢者等の円滑な居住確保促進事業
	20	兵庫県	豊岡市	大牟田市居住支援協議会の取り組み
9	26	沖縄県	宜野湾市	おおむた・みらい・ESD推進事業
			なし	

スマートフォン、タブレットでも議会中継が視聴できます。

大牟田市議会では、本会議及び予算・決算特別委員会の生中継と録画中継をインターネット配信しています。

配信システムの変更により、以前からのパソコンによる視聴だけではなく、スマートフォンやタブレットパソコンからも視聴できるようになりました。

どうぞご利用ください。



左のQRコードからも視聴できます。

各議員の質問のページのQRコードからは直接視聴できます。

おおむた自慢

大牟田から全国、そして世界へ ～スポーツ界で活躍する子どもたち～

秋と言えば実りの秋、文化・芸術の秋、スポーツの秋…と様々なものが思い浮かびます。オリンピックイヤーを間近に控え、本市でも東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、ジョージアのホストタウンに登録されており事前キャンプなどが期待されます。

そこで今回はスポーツ界で活躍する子どもたちをご紹介します。

3冠達成の明光学園ハンドボール部



明光学園高等学校ハンドボール部は春の全国選抜大会に続き、全国高校総合体育大会（インターハイ）でも優勝し、高校大会2冠を達成。10月に開催された第74回国民体育大会では県代表として出場し見事、3冠を達成しました。

創部6年目の快挙にキャプテンの柿添まどかさん（3年）は「目に見えないプレッシャーもあり苦しい試合もありましたが日本一を取るためどうすべきかと、気持ちをひとつにして自分たちのやってきたことを信じました。またたくさんの皆さんの応援が後押しになりました。」と笑顔。バトンタッチされた新チームの活躍にも期待がかかります。

来年は壹岐兄妹で全国大会目指す

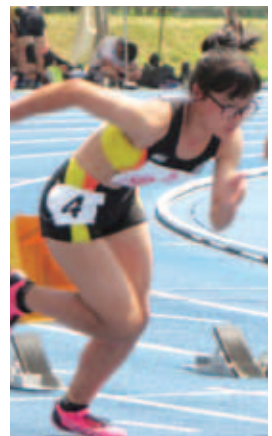


甘木中学校2年の壹岐航さんは小学校5年生から毎年、水泳で全国大会へ出場。今年も全日本中学校水泳競技大会200m背泳ぎへの出場を果たしました。

自由形で全国大会への出場経験を持つ妹・ひなたさんも来年は甘木中に入學予定で「来年、目指すは全中での優勝。記録で親に恩返しをしたい。」と、兄妹での活躍に期待がかかります。

ジュニアオリンピック出場の中村さん

白光中学校3年の中村杏香さんは8月の全日本中学校陸上競技大会で100m、200mに出場。10月には県代表としてジュニアオリンピック大会200mに出場と大活躍。「それまで自信がなかったけど陸上を通して少しずつ積極的になれ、共に頑張る仲間ができた。高校では全国高校総合体育大会（インターハイ）ベスト8を目指したい。」と笑顔で話してくれました。



大牟田高校柔道部は個人戦3階級制覇

大牟田高校柔道部は全国高校総合体育大会（インターハイ）男子団体で準優勝。個人戦では3年・森健心さんが100kg級、3年・竹市大祐さんが81kg級、3年・山口葵良梨さんが女子63kg級で優勝し3階級を制覇しました。

森さんらは「団体優勝を狙っていたが残念。その分、個人で優勝できてよかった。世界で戦える選手になれるよう頑張りたい。」と世界を視野に将来を語ってくれました。



編集後記

選挙後2回目の市議会だよりを発行します。新人議員は、市民の負託に応えるべく、議会の内外で日々勉強しているところです。8月に市内9カ所で開かれた議会報告会では、様々なご意見・要望を聞くことができました。安心して暮らしていける大牟田、住みたくなる大牟田となるよう、力を尽くしていきます。（K）

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】三宅智加子 【副委員長】島野知洋

【委員】森竜子 山田修司 平山光子 崎山恵子

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 精巧印刷株式会社